

## 人工知能が進化する時代に

急速に進化している人工知能（AI）が、私たちの社会や生活を大きく変えようとしています。

アメリカの企業が開発した人工知能「ワトソン」は、たった1秒間に8億ページ分もの文字を読みます。東京大学医科学研究所が導入した「ワトソン」は、2,500万を超えるがん研究の論文等を読み込み、専門の医師でも難しいと言われている特殊な白血病を見抜き、1人の日本人女性の命を救いました。診断に要した時間は、わずか10分間です。

しかし、人工知能がいかに進化しようと、それらが行うのは人間に与えられた目標の中での処理に過ぎません。私たち人間だけが、豊かな感性を働かせながら、よりよい社会や人生を築くための目標を考え出すことができるのです。



### 利他の心

福聚山 慈眼寺住職 大峯千日回峰行大行満大阿闍梨 塩沼 亮潤

「利他の心とはどういうことですか？」と、質問を受けたことがあります。「利他」というのは読んで字の如く、「相手を利すること」です。自己の利益も大切ですが、相手の功德を施すことを優先します。そういう精神で生きていると、不思議と自分も誰かに生かされて潤い、円満な人生を歩めるものです。

出典：「寄りそう心」 塩沼亮潤著（プレスアート）

※ 利他の心は「人によかれ」という心。視野も広がり、正しい判断を下しやすくなると考えます。